

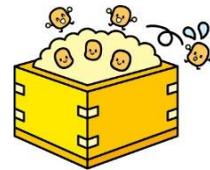


金ヶ崎町子育て支援センターちびっこひろば

ちびっこひろばだより2月号



令和3年2月1日(月)発行
社会福祉法人愛護会 金ヶ崎町子育て支援センター
金ヶ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700
Eメールkosodatesien@aigokai.jp (ファックス番号が変更になりました。)



今年は、一段と寒さも雪の量も多くて大変ですね。支援センターの雪の量もびっくりするほどあります。ぜひ、見に来ていただいて、お天気が良ければ、子どもさんと雪あそび、そり遊び、楽しんでいただきたいです。

コロナウイルスの流行がおさまらず、2度目の緊急事態宣言が出された都道府県の解除予定が今月となっていますが、果たして解除させるのかも心配なところですね。支援センターでも、引き続き、感染防止対策を取りながら、子ども達のがびのびと遊べる場を作っていきたいと思います。皆様のご利用、お待ちしております。

《2月の行事とお知らせ》



月	火	水	木	金	土		
1	2 節分	3 	4	5 びよびよ 保健指導員相談日	6 		
8 永岡サークル 「ながままサークル」	9	10 午前 チューリップひろば 午後 チューリップひろば	11 建国記念日 閉所	12 とことこ 	13		
15	18 離乳食教室 三ヶ尻サークル 「こっこクラブ」	19 びよんびよん 	20	23 天皇誕生日 閉所	24 午前 チューリップひろば 午後 チューリップひろば	25 チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の利用はできません。 	26 27

今年の節分は、2月2日。124年ぶりのレアな年だそうです。ご存知でしたか？

チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の利用はできません。

参加のお申し込みは、子育て支援センターまで、お電話ください。

チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の利用はできません。

＜2月の主な行事＞（10時30分頃～11時30分頃まで）

- ☆2月 5日(金) びよびよ(主に0歳児対象) 保健指導員相談日
- ☆2月12日(金) とことこ(主に1歳児対象)
- ☆2月19日(金) びよんびよん(主に2・3歳児対象)

金ヶ崎町子育て支援センターの利用について
・マスクの着用をお願いします。
・来所時の健康確認、検温をお願いします。
・お弁当の持ち込みは、お休みとなっています。
ご協力をお願いします。

◇離乳食教室は、今年度の開催日としては、最後となります。離乳食初期から完了期まで、それぞれの形態や量、旬の食材を使ったのメニューなどを紹介します。栄養士に相談等もできます。初めての方、2回目、3回目の方でも参加できます。



月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

トイレトレーニングのポイント（1歳3か月～2歳未満ころ）

まだ排泄を意識的にすることは難しいものの、排泄の間隔は2時間くらいは、もつようになります。そして、「反射」で行われていた排尿も、脳の発達にともない、2歳前後には「尿意」を感じられるようになってきます。

おむつ外しのタイミングは？

おむつ外しのタイミングは、子どもの状態をみながら、個々の様子に合わせて進めていきます。

目安となるのは、
・排尿間隔が空いてきて、その感覚が一定になったくる。
・1回にのおしっこの量が多くなる。
などです。

朝、目覚めてから、午睡から目覚めてからなど、トイレに誘うことから始めてみるのがいいようです。

はじめは、トイレにいて、オマルや便座に座るだけで十分です。「トイレに行ってもどうせでないから、面倒だからいいや」では、おむつ外しのタイミングを見逃してしまうことにもつながります。時間を決めて、トイレに誘い、トイレに行き、便座に座ることを習慣にしていきましょう。

子どもの気持ちに合わせて、焦らずに進めていきましょう。

2歳前後から少しずつ尿意を感じるようになり、おしっこが出そうになると、図のような「おしっこ出そう」というサインを表すようになります。子どものサインに気づいたら「おしっこでる？」「トイレいこうか」と声をかけて誘いましょう。



「おしっこでる」のサインは、それぞれ違います。「うちの子は、どんなサインかな？」と、様子を観察してみましょう。

紙おむつは、子どもはおしっこが出てオムツが濡れた、気持ち悪いという感覚、お母さんは子どものおしっこがでる時間の間隔がつかみづらいいですね。暖くなる時期などは、布パンツにして、トレーニングを進めてみましょう。

Pointo

尿意を感じても、言葉で知らせるのはまだ難しいです。「おしっこ出そう」「おしっこ出たね」と、子どもの思いや行動を常に言葉にかえて伝えていくことが大切です。その繰り返しが、「この感覚は、おしっこが出そうということなんだ」という理解につながっていきます。



トイレで排尿できた時は、「おしっこ出たね」と、子どもと一緒に喜びましょう。間に合わず、失敗しても決して怒りません。「おしっこでたね」と、言葉で伝え、子どもが失敗したと思わないようにしていきましょう。